

法人企業統計調査における 季節調整の対象項目の追加等について

1. 季節調整の対象項目の追加

先般、平成 28 年 3 月 22 日付で統計委員会から公表された「平成 26 年度統計法施行状況に関する審議結果報告書（未諮問基幹統計確認関連分）」において、法人企業統計調査の季節調整値について「公表の範囲の更なる拡大が望まれる」との指摘がありました。これを受け、学識経験者を中心とした法人企業統計研究会において検討した結果、季節調整の対象項目（注1）に新たに「営業利益」を追加します。

（注1）これまでの季節調整対象項目は「売上高」「経常利益」「設備投資」の3項目。

2. 季節調整の設定内容の変更

法人企業統計調査の季節調整方法については、米国商務省センサス局が開発した X-12-ARIMA を利用しています。その設定内容については、法人企業統計研究会において毎年定期的に見直しを行っており、より適切な季節調整を行うため、「売上高」の製造業、「経常利益」の製造業及び非製造業について、RegARIMA モデルを変更します。

（注2）「売上高」の非製造業、「設備投資」の製造業及び非製造業については、現行の RegARIMA モデルを引き続き使用します。

3. 実施予定

上記の対象項目追加及び設定内容変更については、平成 28 年 4-6 月期調査（9 月 1 日公表予定）から実施する予定です。

(参考)

(1) 法人企業統計調査において適用される設定内容は、平成 28 年 1-3 月期までの原系列を用いて、法人企業統計研究会において見直しを行い、決定しました。以下は選択された新たな RegARIMA モデルです。

○RegARIMA モデル(新モデル)

		モデル	変化点・異常値の設定種類及び期
売上高	製造業	(2 1 2) (1 1 1)	rp2008.2-2009.2 , rp2009.2-2010.1 ao2011.2 ,ao2014.1
	非製造業	(0 1 2) (1 1 2)	ao1989.1 , ao1989.2 , ao1997.1 rp2008.3-2009.1 , rp2009.1-2010.2 , ao2011.2
営業利益	製造業	(2 1 2) (1 1 2)	ao1989.2 , ao1997.2 , rp2008.3-2009.1 rp2009.1-2010.1 , ao2011.2 , ao2014.2
	非製造業	(1 1 0) (0 1 2)	ao1989.1 , ao1989.2 , ao1997.1 rp2008.2-2009.1 , ao2011.2 , ao2014.1
経常利益	製造業	(1 1 1) (0 1 1)	rp2008.3-2009.1 , rp2009.1-2010.1
	非製造業	(0 1 1) (2 1 2)	ao1989.1 , ao1989.2 , ao1997.1 rp2008.2-2009.1 , rp2009.1-2010.2
設備投資	製造業	(2 1 2) (0 1 2)	rp2008.3-2009.1 , rp2009.1-2009.4 ao2011.2 , ao2014.1
	非製造業	(1 1 0) (1 1 2)	rp2008.2-2009.2 , rp2009.2-2010.2

(注 1)1 期は 1-3 月期、2 期は 4-6 月期、3 期は 7-9 月期、4 期は 10-12 月期を表します。

(注 2)赤字は平成 28 年 4-6 月期調査からの変更箇所を表します(ただし、営業利益については新たに追加した項目)。

(2) 詳細は琉球大学法文学部 高岡 慎准教授「2016 年 4-6 月期以降に用いる X-12-ARIMA スペックについて」をご参照願います)。

(<http://www.mof.go.jp/pri/reference/ssc/bunseki.htm>)

(問い合わせ先)

財務省財務総合政策研究所
調査統計部

Tel. 03-3581-4111

(内線)5499、5325